

二六 漢故司隸校尉京兆尹司馬君之碑頌

立碑 不明（三國魏、ないしは北魏）
石高 殘高一〇六糎。寬九八糎
隸書 一六行。行八く十六字
篆額 「漢故司隸／校尉京兆／尹司馬君／之碑頌」
原石 陝西省博物館に現存

君諱芳字文豫河内□□

次雖五德迭興而官□□

周人歌德着於雅頌因□

未啓封國于殷墟遂家□

5 顯考備以資望之重識□

氣孝友穆於家庭信義□

身挹退不似地蔚矜豪□

就□□□步兵校尉□

□□□□□□□□□□

0 □陳竝名伊望而昊天不□

皇道之莫祐會炎德告徹□

揚□景行之永絕乃相與□

洋洋黃河洪流東迴峨峨□

唯立德政化是毗其毗唯□

5 不弔景命摧傷邦人追慕□

晉故扶風王六世孫寧遠將軍樂陵侯追□



君諱芳字文豫河內
 次難五德透興而官
 周人歌德著於雅頌
 未歲封國于段壘遂家
 顯才傷以資望之重識
 氣孝及穆於家廷信義
 身抱退不似地蔚於高

陳誼名伊望而昊天不
 皇道之莫柘會炎德告徹
 揚景行之孔絕乃相与
 洋洋黃河洪流東迴曦
 唯立德攸化是毗其唯
 不局景命摧傷邦人追莫
 晉故法風王六世孫寧遠將軍樂陵侯

二六 漢故司隸校尉京兆尹司馬君之碑頌

正面に十六行、一四二字が残る。高一〇六センチメートル、寛九八センチメートル。碑額には蟠螭紋が彫られ、額に篆書で「故漢司隸校尉京兆尹司馬君之碑頌」と題する。一九五二年に西安市の西大街廣濟街口で出土。上半のみが幾つかに断裂したかたちで発見された。『水經注』渭水明渠に、「故渠北有樓、豎漢京兆尹司馬文預碑。」としてこの碑の存在が伝えられ、もとは漢長安城内に立碑されたものらしい。従来は東晉碑とされてきた（段紹嘉「司馬芳殘碑出土經過及初步研究」『人文雜誌』一九五七―三）が、碑陽最後の一文の考證により、近年は北魏碑ともされる（楊勵三「司馬芳殘碑」『文物』一九六五―九、路遠「《司馬芳碑》刻立年代考辯」『文博』一九九八―二）。書體は隸楷の間にあり、隸書より楷書に轉ずる過渡期に屬する。原石は陝西省博物館に現存する。

立碑の時期については、段紹嘉論文①が「六世孫」であるから、司馬駿から百年程度のちの立碑②「與」の書體が東晉太亨年間の爨寶子碑のものと類似する、の二點から東晉ごろの立碑とし、これに従う著録も多かった。だが楊勵三論文は末文の「六世孫」とは北魏に亡命した司馬準のことであるととし、碑は彼が追立したものであると結論した。路遠論文もこれに従い、近年の著録にはこの碑を北魏碑とするものも見られる。

そもそも東晉時代の長安に司馬氏顯彰の碑を立碑できたとは考えにくい。また「炎」字を避けていない點からも、晉碑である可能性は退けられる。とはいえ、北魏碑であるとする、こんどは碑陰に名を連ねる「故吏」たちの存在が浮いてしまう。長安付近に本貫をもつこれらの故吏は、碑文で顯彰されているもとの司隸校尉・京兆尹司馬芳の故吏なのであるが、司馬準が亡命した北魏の時代まで彼らが生きながらえていたはずがない。確かに末文の「六世孫」とは司馬準のことなのであるが、彼が立碑したとはいっておらず、この一文が追刻である可能性も高い。碑文のニュアンス、碑額の蟠螭文のスタイルなどからしても、司馬芳が没してからさほど遠から

ぬ、三國時代の立碑とするのが最も妥當な推測であろう。

君諱芳。字文豫。河内□□^①…

次。雖五德迭興^②。而官□□…

周人歌德。着於雅頌^③。因…

未啓。封國于殷墟^④。遂家…

顯考備以資望之重識^⑤…

氣、孝友穆於家庭^⑥。信義^⑦…

身挹退^⑧。不似地蔚矜豪^⑨…

就□□□步兵校尉□□…

□陳。竝名伊望^⑩。而昊天不^⑪…

皇道之莫祐^⑫。會炎德告微^⑬…

揚□景行之永絕^⑭。乃相與…

洋洋黃河。洪流東迴^⑮。峨峨^⑯…

唯立德政化^⑰。是毗其毗唯^⑱…

不弔^⑲。景命摧傷^⑳。邦人追慕^㉑…

晉故扶風王六世孫寧遠將軍樂陵侯追^㉒…

(1) 君諱芳字文豫河內

君諱芳 司馬芳は司馬防のことか。『三國志』卷十五「司馬朗傳」注引「司馬彪序傳」：「朗祖父儁。字元異。博學好古。個儻有大度。長八尺二寸。腰帶十圍。儀狀魁岸。與衆有異。鄉黨宗族咸景附焉。位至潁川太守。父防。字建公。性質直公方。雖閒居宴處。威儀不忒。雅好漢書名臣列傳。所諷誦者數十萬言。少仕州郡。歷官洛陽令。京兆尹。以年老轉拜騎都尉。養志閭巷。闔門自守。諸子雖冠成人。不命曰進不敢進。不命曰坐不敢坐。不指有所問不敢言。父子之閒肅如也。年七十一。建安二十四年終。有子八人。朗最長。次即晉宣皇帝也。」「晉書」卷一「宣帝紀」：「宣皇帝諱懿。字仲達。河內溫縣孝敬里人。姓司馬氏。其先出自帝高陽之子重黎。爲夏官祝融。歷唐。虞。夏。商。世序其職。及周。以夏官爲司馬。其後程伯休父。周宣王時。以世官克平徐方。錫以官族。因而爲氏。楚漢間。司馬印爲趙將。與諸侯伐秦。秦亡。立爲殷王。都河內。漢以其地爲郡。子孫遂家焉。自印八世。生征西將軍鈞。字叔平。鈞生豫章太守量。字公度。量生潁川太守儁。字元異。儁生京兆尹防。字建公。帝即防之第二子也。」

(2) 雖五德迭興

五德迭興 〓『鹽鐵論』論菑：「四時五行。迭廢迭興。陰陽異類。水火不同器。」

(3) 周人歌德着於雅頌

歌德 〓『漢書』六十四下「賈捐之傳」：「臣聞堯舜。聖之盛也。禹人聖域而不優。……故君臣歌德。含氣之物。各得其宜。」
雅頌 〓『論語』子罕：「子曰。吾自衛反魯。然後樂正。雅頌各得其所。」

具體的には司馬氏の祖、程伯休父の事跡が『詩』に記されていることを指す。『詩』大雅「常武」：「王謂尹氏。命程伯休父。左右陳行。戒我師旅。率彼淮浦。省此徐土。」

(4) 封國于殷墟

封國于殷墟 〓司馬印の封國。『史記』卷八「高祖本紀」：「趙將司馬印爲殷王。都朝歌。同卷一百三十「太史公自序」：「蒯瓊玄孫印爲武信君將而匈奴朝歌。諸侯之相王。王印於殷。漢之伐楚。印歸漢。以其地爲河內郡。」

(5) 顯考儁以資望之重識

顯考 〓『書』康誥：「惟乃丕顯考文王。克明德慎罰。」「後漢書」列傳七十一「文苑傳上・傅毅」：「於赫我祖。顯于殷國。……奕世載德。迄我顯考。」
資望 〓『晉書』卷六十七「祁愔傳」：「傳自以資望少。不宜超位大郡。朝議嘉之。」

(6) 孝友穆於家庭

孝友 〓「王基碑」(本書、七)注(5)參照。蔡邕「何休碑」(『文選』卷五十八「楮淵碑」注引)：「孝友盡於閨庭。」
鄭固碑」(『漢代石刻集成』七七)：「孝友著于閨門。至行立乎鄉黨。」

穆於家庭 〓王儉「楮淵碑」(『文選』卷五十八)：「是以仁經義緯。敦穆於閨庭。」

(7) 信義

信義 〓『漢書』卷二十二「禮樂志」：「條理信義。望禮五嶽。」

(8) 身挹退

身挹 〓『三國志』卷三十五「諸葛亮傳」：「君受大任。幹國之重。而久自挹損。非所以光揚洪烈矣。」

挹退 〓 『晉書』卷七十七「殷浩傳」：「若復深存挹退。苟遂本懷。吾恐天下之事於此去矣。」

(9) 不似地尉矜豪

矜豪 〓 『晉書』卷三十三「何曾傳」：「綏。字伯蔚。位至侍中尚書。自以繼世名貴。奢侈過度。性既輕物。翰札簡傲。城陽士尼見綏書疏。謂人曰。伯蔚居亂而矜豪乃爾。豈其免乎。」

(10) 步兵校尉

步兵校尉 〓 『宋書』卷四十「百官志」下：「屯騎校尉。步兵校尉。越騎校尉。長水校尉。射聲校尉。五校並漢武帝置。屯騎。步兵掌上林苑門屯兵。……漢東京五校。典宿衛士。……魏晉逮于江左。初猶領營兵。並置司馬。功曹。主簿。後省。」

(11) 竝名伊望

伊望 〓 『鹽鐵論』毀學：「既而李斯入秦。遂取三公。據萬乘之權。以制海內。功侔伊望。名巨太山。」

(12) 昊天不

昊天不 〓 「谷朗碑」(本書、八)注(62)參照。

(13) 皇道之莫祐

皇道 〓 「辟雍碑」(本書、一一)注(8)參照。

皇 〓 不祐 〓 『漢書』卷七十三「韋玄成傳」：「……臣衡中朝臣咸復以爲天子之祀。義有所斷。禮有所承。違統背制。不可以奉先祖。皇天不祐。鬼神不饗。」

(14) 會炎德告微

炎德 〓 『後漢書』列傳五十一「黃瓊傳」：「七年。疾篤。上疏諫曰。……滅絕漢祚。天維陵弛。民鬼慘愴。賴皇乾眷命。炎德復輝。……。」

(15) 揚 〓 景行之永絕

景行 〓 「范式碑」(本書、五)注(50)參照。

(16) 洋洋黃河洪流東迴

洋洋 〓 『詩』衛風「碩人」：「河水洋洋。北流活活。」『呂氏春秋』孝行覽·本味：「伯牙鼓琴。鍾子期聽之。方鼓琴而志在太山。鍾子期曰。善哉乎鼓琴。巍巍乎若太山。少選之間。而志在流水。鍾子期又曰。善哉乎鼓琴。洋洋乎若流水。」

洪流 〓 『三國志』卷二十一「傅嘏傳」：「嘏議以爲。淮海非賊輕行之路。又昔孫權遣兵入海。漂浪沉溺。略無子遺。恪豈敢傾根竭本。寄命洪流、以微乾沒乎。」

東迴 〓 『山海經』(『太平御覽』卷六十一)：「禹鑿龍門。始南流。至華陰。潼關與滑水合。又東迴過砥柱。」

(17) 峨峨

峨峨 〓 「曹真碑」(本書、四)注(32)參照。

(18) 唯立德政化

立德 〓 「范式碑」(本書、五)注(16)參照。

政化』『後漢書』本紀二「明帝紀」：二月。王雒山出寶鼎。廬江太守獻之。夏四月甲子。詔曰。……祥瑞之降。以應有德。方今政化多僻。何以致茲。

(19) 是毗其毗

是毗』注(12)に引く『詩』少雅「節南山」參照。

(20) 不弔

不弔』注(12)參照。

(21) 景命摧傷

景命』『詩』大雅「既醉」：「君子萬年。景命有僕。」『尹宙碑』(『漢代石刻集成』一一七)：「景命不永。早即幽昏」。

摧傷』『續漢書』志十三「五行志」：「靈帝中平中。京都歌曰。承樂世董逃。遊四郭董逃。……日夜絕董逃。心摧傷董逃。案。董謂董卓也。言雖跋扈。縱其殘暴。終歸逃竄。至於滅族也。」『楊著碑』(『漢代石刻集成』九五)：「凡百隕涕。縉紳摧傷」。

(22) 邦人追慕

邦人』『三國志』卷六十四「諸葛恪傳」評：「諸葛恪才氣幹略。邦人所稱。」『安平相孫根碑』(『隸釋』卷十)：「故吏。門生。邦人咸曰。令問弗銘。」

□勒。孰觀孰聞。乃立石碑。昭名不朽。其辭曰……。

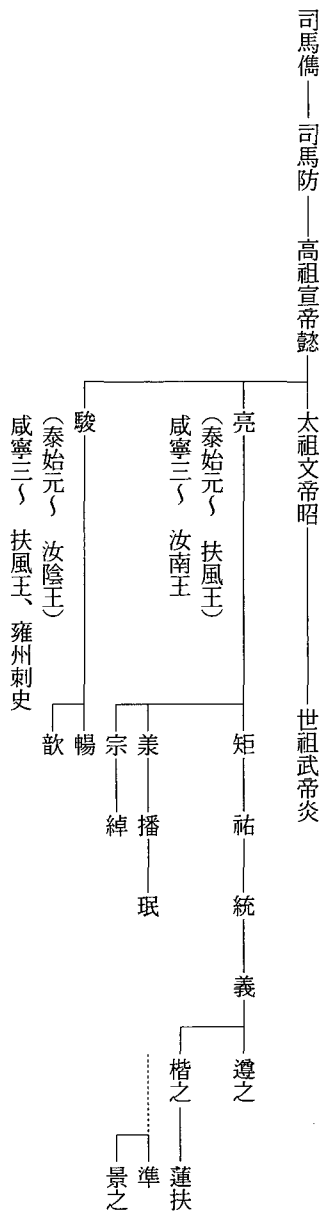
(23) 晉故扶風王六世孫寧遠將軍樂陵侯

扶風王』司馬懿の息子たちのうち、司馬亮ないしは駿のこと。司馬亮は泰始元年に扶風王に封ぜられ、咸寧三年に汝南王に徙封される。司馬駿は泰始元年に汝陰王に封ぜられ、咸寧三年に扶風王に徙封される。司馬亮の子孫が司馬準・景之。

六世孫寧遠將軍樂陵侯』楊勳三氏は司馬準であるとす。『魏書』卷三十七「司馬景之傳」：「司馬景之。字洪略。晉汝南王亮之後。太宗時歸闕。爵蒼梧公。加征南大將軍。清直有節操。太宗甚重之。卒。贈汝南王。子師子襲爵。景之兄準。字巨之。以泰常末。率三千餘家歸國。時太宗在虎牢。

授寧遠將軍。新蔡公。假相州刺史。隨駕至京。出除廣寧太守。悅近來遠。清儉有稱。世祖嘉之。賜布六百匹。後降號爲平遠將軍。改爲密陵侯。興

光初卒。子安國襲爵」



君 諱は芳、字は文豫、河内□…
次、五徳は迭たがひとも興たかると雖も、官□…
周人徳を歌い、雅頌みやうに着かわれ、因りて…
未だ啓かれず、國を殷墟かむに封ぜられ、遂に…に家す。
…顯考けんこうは資望しぼうの重きを以て…識られ、
…氣、孝友は家庭かていに穆あつく、信義は…
…身み挹退えつたいし、地尉ちゑいとして豪はうを矜たかるに似ず、…
…就□□□步兵校尉□…
…□陳、名を伊望いぼうに竝ぶ。而れども昊天…とせず、
…皇道の祐たすくるなきを…。炎徳の微ひそを告ぐるに會い…
…揚□景行の永く絶ゆるを…。乃ち相あい與よに…
洋洋たる黄河、洪流東廻し、峨峨ががたる…
…唯だ徳を立てて政化し、是れ毗たすけ其れ毗たすけ、唯だ…
…弔たづんとせず、景命けいめい摧傷さいかうす。邦人追慕し、…
晋の故の扶風王の六世の孫、寧遠將軍・樂陵侯追…